

毎週日曜発行
2019 6/9

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



⑤ 宮城の万葉スポット

④ 多賀城市

新元号「令和」の由来となった「万葉集」は多賀城市と深いつながりがあり、多賀城市は万葉ゆかりの地として全国的に知られているよ。豊かな歴史を生かした地域おこしの取り組みや、万葉集を題材にした芸術作品を紹介するよ。

多賀城市は奈良時代、中央政府の重要拠点である国府が置かれ、東北の軍事・政治の中心として栄

こんにちは、 令和

えました。令和の典拠となった万葉集の「梅花の歌」を詠んだ大伴旅人の息子で万葉歌人の大伴家持が赴任し、人生を終えた地とも言われます。重要な政務などが行われ、「日本三大史跡」に

数えられる多賀城政庁跡など貴重な文化財が数多く残されています。



こうした歴史遺産を発信しようと、地元の人たちが約20年前から「史都



故日下さんの万葉集を題材にした作品「古代多賀城の詩」。多賀城市文化センターロビーに展示されている

豊かな歴史で地域おこし

多賀城万葉まつり」を開いています。奈良時代の華やかな衣装をまとった市民400人による時代行列やステージ発表などが目玉です。

「万葉集が新元号の由来となったことはありがたい。万葉集が注目されていることを生かし、地元の子どもたちに多賀城の歴史や文化を伝えたい」。実行委員会総務部長の吉田忠彦さん(52)はこう語ります。



史都多賀城万葉まつりで、きらびやかな衣装に身を包んだ参加者による発表=2017年10月

万葉集の世界をイメージできる芸術作品もあります。市図書館3階の「多賀城万葉ミュージアム」には、政庁跡の発掘現場を訪れたのをきっかけに、万葉集を題材にした絵を数多く残した洋画家の日下常由さん(2013年死去)の作品が展示されています。

作品は市のウェブサイトに「多賀城万葉デジタルミュージアム」でも見ることが出来ます。市の担当者は「市の貴重な財産。新元号をきっかけに多くの人に見てもらいたい」とPRしています。

多賀城市を訪ねて、地域の歴史を知ることは地域への愛着や誇りを持つことにつながると、かほピョンは感じたよ。みんなも万葉ロマン漂う多賀城市に足を運んでみて!

今週の注目ニュース

◇12日(水) 野球殿堂博物館の開館60周年(東京)
1959年に日本初の野球専門の博物館として開館し、現在は東京ドームの中にあるんだ。60周年を記念して、この日は入館料が全員60円になるよ。野球ファンにはたまらない日だね。

◇15日(土) ちやぶ台返し世界大会!? (岩手県矢巾町)
「宿題を減らして!」など日頃の不満や思いを叫びながら、ちやぶ台をひっくり返すイベントだよ。おもちゃのサンマが飛んだ距離を競うんだ。

きょうの紙面

2 イマ★どき

3 3分チャレンジ

4・5 いいね

小学校

6 英語

7

かほくワークシート

8 投稿特集